

国立大学法人京都大学入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和5年9月27日(水) 京都大学本部棟1階ミーティングルーム	
委員	委員長 金尾 伊織 (国立大学法人京都工芸繊維大学 教授) 委員 福井 智士(公認会計士) 委員 志部 淳之介(弁護士)	
審議対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし。
建設工事(小計)	5件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定適用対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>議事に先立ち、出席者の紹介、施設部長の挨拶、委員会の概要説明</p> <p>【前回の委員会での議論等を通じて問題提起された事柄について、京都大学側より報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>本学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について（報告）</p> <p>【京都大学側より、令和4年4月から令和5年3月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について、入札・契約方式ごとに説明・報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の工事件数が減っているにもかかわらず、不落の件数が増えている理由は何か。 <p>建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>【京都大学側より、委員会による抽出経緯の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【抽出案件の審議】</p> <p>建設工事：一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） ○京都大学（中央他）基幹・環境整備（電気設備）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札者の入札価格が1回目から2回目にかけて大幅に下がっているが、どのような理由によるものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、技術者が慢性的に不足しており、そのため、入札額が高止まりとなり不落となるケースが多いと考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・落札者にヒアリングを行ったところ金額の大きい工事でぜひ受注したい案件であったので、1回目で予定価格に達しなかったものの、2回目は通常の入札価格より値引き率を上げて入札したとのことであった。

別紙

意見・質問	回答
<p>・低入札価格調査を実施しているが、工事費内訳書を用いて、材料費がいくら下がっているなどのより詳細な分析を行う等、本当に施工が可能であるかをチェックする必要があるのではないか。</p>	<p>・本学の内訳と業者の内訳の構成は異なるため、1項目ごとの比較は難しい部分があるが、本件は施工体制確認型実施案件であるため、ヒアリングの実施、下請け業者から徴取した見積書等をチェックする等、適正な施工ができるかの確認を行っている。ただ、低入札価格調査も含め、実効性のある調査の方法については、検討を行いたい。 なお、施工体制確認の資料については、委員会資料として添付が不十分な部分があるのでその点は次回から改めたい。</p>
<p>○京都大学（十条）十条職員宿舎1号棟外壁等改修工事</p> <p>・11者もの業者が低入札価格での入札となっているが、原因は何か。</p> <p>・低入札価格調査になった案件について施工が適正に行われているか、チェックは行っているのか。</p>	<p>・本件は工事内容が外壁と防水改修のみで、工種の少ない工事であった。そのため、下請業者も直接入札に参加ができる状況であり、共通費などの価格が抑えられていると推察される。 今回のような工事の場合、落札率が低くなる傾向にある。今後、予定価格の積算方法を見直しできないか、検討を行いたい。</p> <p>・工事が始まると、監督職員が施工状況を書面、写真などでチェックしており、そのうえで、最終的には完成検査で本学が望む品質どおりになっているか確認を行っている。</p>
<p>○京都大学（熊取）基幹・環境整備（実験排水処理設備等）工事</p> <p>・一般競争入札の結果、不落となり、再度入札公告を行う時間的余裕がないということで、随意契約を締結したとのことだが、あらかじめ、それらを見越して、早めに入札を行うことは出来なかったのか。</p> <p>・予定価格が2億円を超える高額工事であるにもかかわらず、入札参加が3者だけとなっている。業者側にとって日程的に厳しかった可能性もあり、業者が余裕をもって対応できるよう、入札のスケジュールなどは検討いただきたい。</p> <p>○京都大学（蓼倉橋）福井謙一記念研究センター衛生設備改修工事</p>	<p>・本件は、予算の採択を受けてから遅滞なく入札公告を行っており、これ以上早めることは難しかった。今後も事前に準備ができる部分はしっかりと準備して対応したいと考えている。</p> <p>承知した。</p>

別紙

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・高落札率となった理由は何か。 ・1者のみの参加であった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は配管改修が主な内容であり、応札者が積算基準や市場単価に基づいて予定価格に近い積算をすることが可能だったのではないかとと思われる。 ・普段、取引のある業者2者に確認したところ、両者とも人手不足で技術者を割り当てることができなかったという回答であった。
<p>建設工事：随意契約方式 ○京都大学（南部）外来診療棟エレベーター3号機等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札価格と予定価格が同額となっているが、何を基に予定価格を算出しているのか。何社かから見積を徴取したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格はメーカーから参考見積を徴取したうえで、積算基準に則って算出している。今回の工事は製造メーカー以外が施工することが不可能である工事なので、見積は1者のみの徴取である。
<p>設計・コンサルティング業務：簡易公募型プロポーザル方式 ○京都大学（熊取）ライフライン再生（実験排水処理設備等）設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積徴取を8回実施しており、最終的には半値になっているが、業者側には原因について聞き取り等を行ったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者に聞き取りを行ったわけではないが、1回目と2回目で500万円下がっており、その後は下げ幅がかなり縮小している。業者側も利益を見込むのは当然のことなので、1回目は高めの価格で見積もったのではないか。
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の審議対象案件については手続き面では特段の問題はなく適切に処理されていた。ただ今後は、低入札価格調査においてより実効性のある方法の検討、施工体制確認審査に係る委員会資料の準備、予定価格の適正化、入札時期の早期化の検討を行ってほしい。 	

別紙

意見・質問	回答
<p>その他</p> <p>【京都大学側より、今回の審議対象期間においては再苦情の申立て及び同審議依頼はなかったこと、今年度において入札談合の疑いがある案件が発生したことを報告、令和6年4月からの委員について、金尾委員長の交代を報告、福井委員、志部委員について引き続き委員再任のお願い、次回開催予定などの説明】</p> <p>・特になし。</p> <p>終了</p>	